04

国立大学法人熊本大学

熊本大学医学部附属病院

KUMAMOTO UNIVERSITY HOSPITAL

県内全域で協力病院群を形成
豊富な指導医陣と最新の医療設備の下 将来に直結する研修を

臨床研修プログラムの目的と特徴

自由度の高い研修プログラムを設置
必修以外の希望診療科から研修をスタートできるコースも用意

平成30年度の熊本大学医学部附属病院プログラムでは、県内外の多数の医療機関と協力し、3年目の新専門医プログラムに繋がる連携を充実させています。
当院プログラムでは大学病院と市中研修病院をともに研修できるたすきシステムを基盤として、診療の幅・経験値・医療連携を拡げることができます。こうした研修で将来の目的や探求心を幅広く持つことが、医師としてのキャリア形成にはとても重要です。その結果、これまでも九州を中心に多くの希望者に集まって頂き、大学病院として高いマッチ率を維持しています。この中で従来に比し自由度の高い研修プログラムを設定する一方、総合診療・地域医療や小児・産婦人科特化といった特徴あるコースの設定も行なっています。A,B,C,Dの4コースでは、いずれも自由選択診療科の期間が充分確保され、必修項目の修了後は自分の専攻や将来のキャリアパスに直結した研修内容を選択することが可能です。新専門制度に対応できる体制を準備し、初期～後期研修への繋がりもスムーズな当院プログラムで視野を広げ、将来につながる研修を目指してください。

アピールポイント

広さと深さを備えた臨床研修で
将来につながる医師像を

大学病院が安定して評価してもらえている点は、研修範囲の広さと柔軟性です。大学病院と協力病院研修を行うことで診療の幅、経験値、医療連携を拡げることができます。研修中の多様な選択肢から、目的や探求心を持ち、医師としての将来に繋げることが可能です。また、必須となる新専門医プログラムにダイレクトに繋がるという点も大きな魅力といえます。

熊本大学医学部附属病院群参加施設一覧

臨床研修プログラム

■初期臨床研修 年間スケジュールの一例（各施設内での研修時期は選択できる）

プログラムA ※救急部門は同一施設での3か月連続とし、1年目あるいは2年目のいずれかの期間を選択する。

月	12か月	12か月
分野	内科（6か月）、選択必修（3か月）、選択（3か月）または救急部門（3か月）	地域医療（1か月）、選択（8か月）、救急部門（3か月）または選択（3か月）
場所	熊本大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院

プログラムB ※必修科目とは内科（6か月）、救急部門（3か月）、選択必修（3か月）である。

月	6か月	12か月	6か月
分野	必修科目	未修了の必修科目（6か月）、地域医療（1か月）、選択（5か月）	選択
場所	熊本大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院	熊本大学医学部附属病院

プログラムC

月	12か月	12か月
分野	内科（6か月）、救急部門（3か月）、選択必修（3か月）	地域医療（1か月）、選択（11か月）
場所	協力型臨床研修病院	熊本大学医学部附属病院

プログラムD

月	24か月
分野	内科（6か月）、救急部門（3か月）、選択必修（3か月）、地域医療（1か月）、選択（11か月）
場所	熊本大学医学部附属病院

プログラム総合診療・地域医療特化コース ※2年次の総合診療研修については指定された地域医療協力病院での研修が可能である。

月	12か月	12か月
分野	内科（6か月）、救急部門（3か月）、選択必修（3か月）	総合診療科もしくは総合内科（3ヶ月）、地域医療（3ヶ月）小児科（2ヶ月）、救急部門（2ヶ月）、選択（2ヶ月）
場所	熊本大学医学部附属病院	地域医療研修病院

プログラム小児科・産婦人科特化コース ※小児科または産婦人科のいずれかを希望することができるコースである。
※2年次の選択科として小児科または産婦人科に関連する診療科、協力病院での研修も可能である。

月	24か月
分野	内科（6か月）、救急部門（3か月）、選択必修（3か月）、地域医療（1か月）、小児科または産婦人科（11か月）
場所	熊本大学医学部附属病院

［指導医からのメッセージ］
The message from an advising doctor

熊本大学
医学部附属病院
集中治療部部長
准教授

蒲原 英伸
Hidenobu Kamohara

大学病院群プログラムの研修は、症例数が多いだけでなく、基本から専門性の高いものまで、内容の幅広さと深さを兼ね備えています。若手先輩医師や中堅、教授による層が厚い教育体制をとり、各々の研修段階に合わせて指導にあたります。また当院では、新専門医制度に合わせたシステムも構築中。3年目の専門医プログラムを意識しながら研修に臨めます。大学病院の研修と一般病院の研修を組み合わせる基本コースのほか、総合診療・地域医療特化コースや産婦人科・小児科特化コースなど選択肢も豊富で、将来の目標を見つけるチャンスも多いです。
研修中は広い視野を持ってさまざまな経験を積み、自分なりに理解して判断する力を身に付けることが大事。そうすればきっと、自分の進む道が見えてくるはずです。

04

国立大学法人熊本大学

熊本大学医学部附属病院

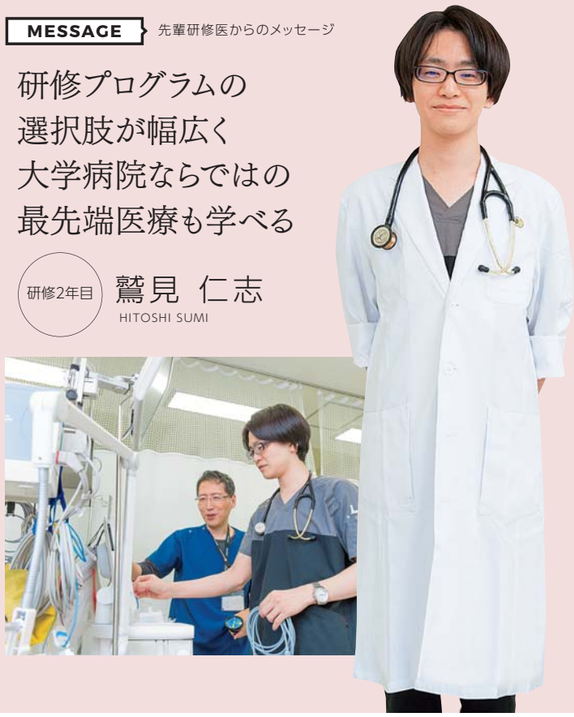
後期研修について

「平成30年度以降は新たな専門医制度が開始され、大学病院群では各種基本領域の新専門医プログラムを実施します。新制度の専門医取得を目指して、3年目以降の進路を考えながら初期研修を進めることができます。」

MESSAGE 先輩研修医からのメッセージ

研修プログラムの選択肢が幅広く大学病院ならではの最先端医療も学べる

研修2年目 鷲見 仁志 HITOSHI SUMI



母校である「熊本大学医学部」に恩返しをしたいと思い、当院を研修先として選びました。また診療科が多彩で、市中病院にはない皮膚科や眼科などで経験が積め、豊富なプログラムの中から将来の希望に合った研修コースを選択できるところにも魅力を感じました。私は、1年目に市中病院であらゆる症例を経験したあと、2年目に大学病院で珍しい症例について学べるCコースを選択。診療科や各科での研修期間を自由に設定でき、年度途中でも変更可能など、希望に応じて柔軟に対応してもらえる点も有り難いですね。大学病院は研究機関でもあるので、日本トップクラスの最先端医療を学べ、実臨床だけでなくさまざまな勉強会や学会への参加のほか、学会での発表の機会を得ることもできます。

研修中、一見した症状での診断と、問診や聴診をした後の診断が全く異なる患者さんがいました。こうした経験から、知識や経験にとらわれず、丁寧な問診や聴診などの基本的な診察の大切さを改めて実感しています。研修前は不安が大きく、研修2年目の今でも「これで正しいのだろうか」と自問自答することがあります。しかしそれ以上に、患者さんの命を預かる医師としての責任を強く感じるようになり、日々進歩していきたいと思うようになりました。

研修は、医師として羽ばたく第一歩。実践の場で非常に多くのことを学べ、医師としての人生の中で一番成長できる時期です。また研修経験を踏まえて、将来の進路を決める人も多いと思います。興味があること以外にも関心を持ち、目の前のことと真剣に向き合いながら研修に臨むことが大切です。当院は、研修内容の選択肢が多く設備面も充実しているため、幅広く学びながらいろんなことに挑戦できる環境が整っています。ぜひ当院で一緒に働きましょう。

研修・認定施設一覧

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- 日本消化器病学会専門医認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本血液学会認定血液研修施設
- 日本感染症学会認定研修施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会専門医認定施設
- 日本高血圧学会専門医認定施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内科学会認定教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本老年医学会認定施設
- 日本肥満学会認定肥満症専門病院
- 植え込み型除細動器植え込み認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本神経学会認定教育施設
- 日本脳卒中学会専門医認定研修教育施設
- 日本外科学会外科専門医修練指定施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A
- 日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- 内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設
- 日本小児外科学会専門医育成認定施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医研修施設
- 日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本小児神経学会小児神経科専門医研修施設
- 婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加認定施設
- 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設
- 経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)認定施設
- 日本アレルギー学会準教育施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設指定
- 日本周産期・新生児医学会周産期(新生児)専門医暫定研修施設
- 日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- 心臓再同期療法:両心室ペーシングペースメーカー植え込み認定施設
- 関連10学会構成腹部大動脈瘤ステントグラフト血管内治療実施施設
- 関連10学会構成胸部大動脈瘤ステントグラフト血管内治療実施施設
- 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医暫定基幹研修施設
- 日本栄養療法推進協議会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本気管食道科学会気管食道科専門医研修施設(咽喉系)
- 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
- 日本病院薬剤師会HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設
- 日本インターベンショナルラジオロジー学会(旧本IVR学会)専門医修練施設
- 日本胸部外科学会指定施設
- 呼吸器外科専門医基幹施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設
- 日本整形外科学会認定医研修施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本皮膚科学会認定専門医主研修施設
- JCOG参加施設(皮膚腫瘍グループ)
- 日本眼科学会眼科専門医研修施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修施設
- 日本カプセル内視鏡学会指導施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本臓器移植ネットワーク腎移植施設
- 日本動脈硬化学会
- 日本脈管学会認定研修指定施設
- 日本食道外科専門医研修施設
- 日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医制度指定研修施設
- 日本口腔外科学会専門医研修機関
- 日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
- 日本口腔ケア学会認定口腔ケア施設
- 日本放射線腫瘍学会認定施設
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- 日本老年精神医学会認定医研修施設
- 日本認知症学会専門医教育施設
- 日本脳神経外科学会専門医認定施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本定位・機能神経外科学会技術認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科標榜研修施設
- 日本ペインクリニック学会専門医指定研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本臨床検査医学会認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会(栄養サポートチーム専門療法士)
- 日本救急医学会専門医指定施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本病理学会病理専門医研修認定施設B
- 日本輸血細胞治療学会認定医指定施設
- 認定輸血検査技師制度指定施設
- 学会認定・輸血看護師制度指定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本救急撮影技師認定機構指定実地研修施設
- 日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医研修施設
- ISO15189認定臨床検査室
- 日本静脈経腸栄養学会・NST(栄養サポートチーム)移動施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修施設
- 日本看護協会急性重症患者看護専門看護師研修施設
- 日本看護協会がん看護専門看護師研修施設
- 日本看護協会がん化学療法看護認定看護師研修施設
- 日本看護協会集中ケア認定看護師研修施設
- 日本看護協会皮膚排泄ケア認定看護師研修施設
- 日本看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師研修施設
- 日本看護協会慢性心不全看護認定看護師研修施設
- 認定臨床微生物検査技師制度指定研修施設
- 日本臨床衛生検査技師会認定精度保証施設
- 実地修練認定教育施設
- 日本アレルギー学会専門医教育研修施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施認定施設
- 日本顎関節学会顎関節症専門医研修施設
- 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
- 日本口腔科学会認定研修施設

1日平均外来患者数／1,487人(平成28年度実績)
1日平均入院患者数／752人(平成28年度実績)
年間手術件数／16,383件(平成28年度実績)

施設概要

所在地	〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
開設者	国立大学法人熊本大学
開設年月日	昭和24年7月1日
院長名	水田博志(みずたひろし)
病床数	848床
標榜科	呼吸器内科、消化器内科、血液内科、膠原病内科、感染症内科、腎臓内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、循環器内科、神経内科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、移植外科、泌尿器科、婦人科、小児科、産科、整形外科、皮膚科、形成・再建科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、歯科口腔外科、画像診断・治療科、放射線治療科、神経精神科、脳神経外科、麻酔科
医師数	694名
指導医数	189名
研修医数	前期86名、後期262名
専門医	呼吸器内科33名、消化器内科39名、血液内科／膠原病内科／感染症内科18名、腎臓内科36名、糖尿病・代謝・内分泌内科23名、循環器内科25名、神経内科27名、心臓血管外科8名、呼吸器外科18名、消化器外科73名、乳腺・内分泌外科19名、小児外科・移植外科13名、泌尿器科12名、産科・婦人科40名、小児科44名、整形外科25名、皮膚科・形成再建科17名、眼科11名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科25名、画像診断・治療科23名、放射線治療科4名、神経精神科6名、脳神経外科19名、麻酔科17名、歯科口腔外科6名、リハビリテーション科2名、救急・総合診療部15名、集中治療部18名、中央検査部4名、病理部15名、中央手術部3名、医療情報経営企画部2名
認定医	呼吸器内科7名、消化器内科4名、血液内科／膠原病内科／感染症内科2名、心臓血管外科3名、呼吸器外科4名、乳腺・内分泌外科18名、小児外科・移植外科1名、泌尿器科17名、産科・婦人科7名、小児科2名、整形外科1名、皮膚科・形成再建科4名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科5名、画像診断・治療科12名、放射線治療科3名、脳神経外科6名、救急・総合診療部1名

募集要項

応募資格	①第113回医師国家試験を受験する者又は平成26年4月以降に医師免許を取得したが、臨床研修未実施で臨床研修を受けようとする者 ②医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者 ③平成26年3月以降に医師国家試験の受験資格を得た者又は得る見込みの者
応募締切	平成30年7月上旬
試験日程	平成30年7月下旬
試験内容	書類審査、小論文試験、面接試験
給料	1年次 月額／約300,000円 2年次 月額／約300,000円
諸手当	超過勤務手当、通勤手当 等
年次有給休暇	有(6ヶ月継続勤務後1年間に10日)
特別有給休暇	有 4月～3月(1年度)に5日(夏季一斉休業分含む)
宿舎	無
加入する保険等	医療保険、年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	無(ただし、出向時は研修施設の規定に従う)
その他	白衣の支給、院内無線LAN使用可、 医学系契約サイト閲覧可(UpTo Date等)、研修医室有

応募連絡先

所在地	〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
担当部署	熊本大学医学部附属病院総合臨床研修センター／事務担当／総務課卒後教育担当
TEL	096-373-5689(直通)、096-373-5994(直通)
FAX	096-373-5952
E-mail	iys-kensyucenter@jimu.kumamoto-u.dc.jp
URL	http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/rinsyokensyu/

ACCESS

阿蘇くまもと空港から

県道36号線から、県道28号線を熊本市役所方面へ。
大江四丁目交差点を左折、500mほど先の右側。

熊本インターチェンジから

九州自動車道「熊本インターチェンジ」より、国道57号線(東バイパス)を宇土方面へ。保田窪北交差点を右折、4kmほど進んだ右側。

JR熊本駅から

熊本市電で健軍方面へ。九品寺交差点電停下車。
本荘方面へ徒歩約10分。